

※はめ込み作業の動画を公開しています
https://www.makinolabs.co.jp/shidefloor_sekou/



① 道具の準備

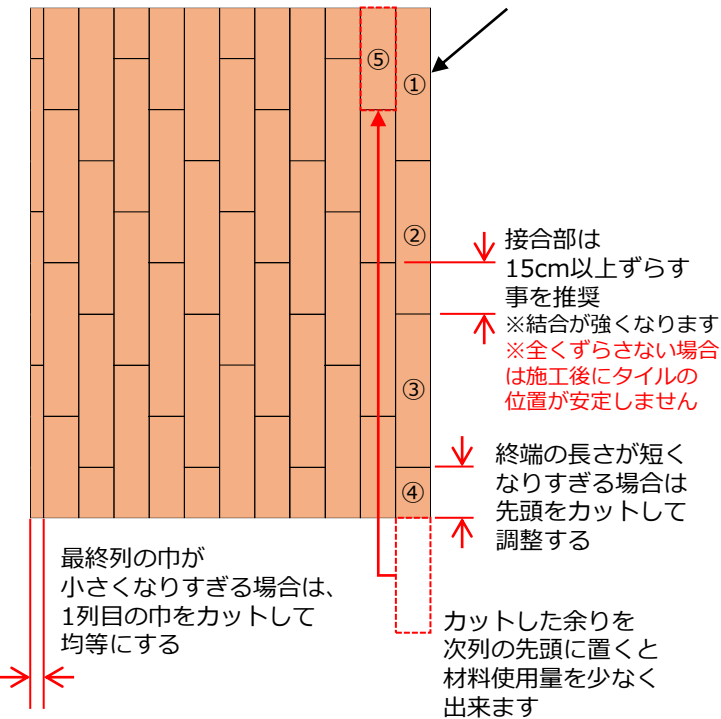
- ・大型のカッターナイフ（長さ・巾調整に使用）
- ・鉛筆またはペン等
- ・定規（カット・けがきの時に使用）
- ・メジャー（寸法測定用にあると便利）
- ・プライヤー・ペンチ等
- ・その他必要に応じて
 鋸類（L字・コの字・曲線等にカットする場合）
 ヤスリ類（カット面をきれいに仕上げる場合）

② 下地等の準備

床下地は、汚れ・水・異物等のない状態とし、凹凸があれば平坦に修正してください。
 床下地とフロア材の温度が同じになるように施工場所にしばらく保管し、施工時の温度は出来るだけ15℃以下にならないようにしてください。

③ 割付を決める

壁に向かって左端から置きます



※接合部に隙間を空けない

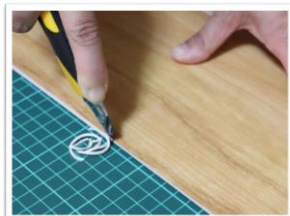
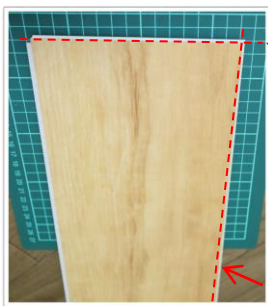
④ 先頭の列を設置

1列目を並べます。（上図では①～④）
 壁からの距離は5mm以上確保（任意）
 します。※壁際までに設置する事も可能ですが、自己責任で施工願います。



短辺のサネを斜めに差し込んで隙間なく押し込みながら倒すとカチッと嵌ります。

壁側の使わないサネは必要に応じてカットします。（表面から見て白色部分が少ない方のサネをカットし壁側にする）
 サネの境目を1回目は軽くなぞり、2回か3回に分けて筋を入れるときれいにカット出来ます。



上図①②③④のカットライン

⑤ カット方法 PART1

長さを調整する際は定規（すべりにくいもの）やフロア材を当ててカットします。

1回目は軽くなぞり徐々に力を入れて数回切れ目を入れます。

※手を切らない様に細心の注意をお願いします。

※刃先はこまめに折って常に良く切れる状態で使用してください。

切れ目を入れた後、切れ目を広げる向きにゆっくり折り曲げるとパキンと折れます。勢いよく曲げると裏面パッドが破れる事があります。

※折った際にフロア材が周辺物に当たり破損しないように注意してください。特にサネは破損しやすいので注意してください。

※低温ではフロア材が固いため、出来るだけ15℃以上の室温になじませた状態で作業をしてください。



カット寸法が小さく手で曲がらない場合や巾をカットする場合はプライヤー等でつかんで曲げると簡単にカット出来ます。

※サネ部をつかむとサネが破損する場合があります。

※使用する部分をつかむと傷や凹みが発生しますので、その場合は当て板等を使用してください。

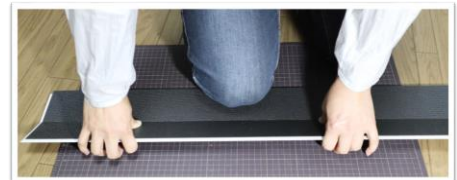


ご自身の作業しやすい方法でカットしてください。下図は一例です。



縦方向のカットは端から順に折っていく事でもカット可能です。画像は実際に女性にカットしてもらっています。

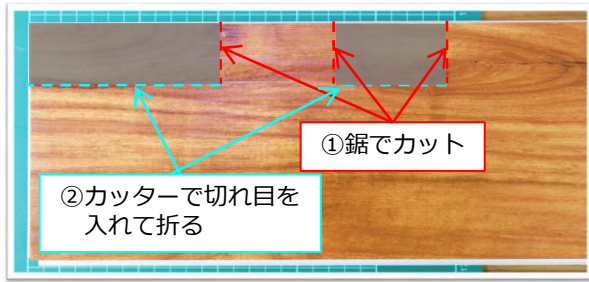
※カット寸法が小さい場合はプライヤ等でつかんで曲げる必要があります。



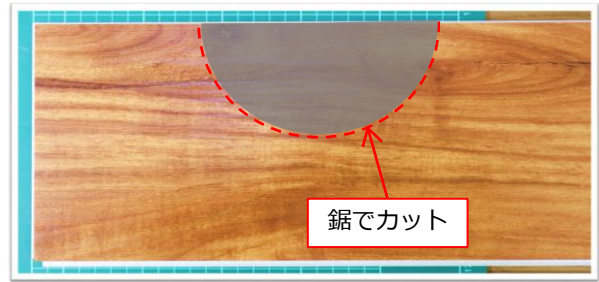
（裏面に続きがあります）

⑥カット方法 PART2

L字またはコの字形状にカットする場合は、下図のように鋸で切り込みを入れたときれいにカット出来ます。
薄板のため、目の細かい鋸を使用するとスムーズに切れます。



曲線にカットする場合は、曲線用の鋸を使用してカットするとスムーズに切れます。



⑦2列目以降を設置

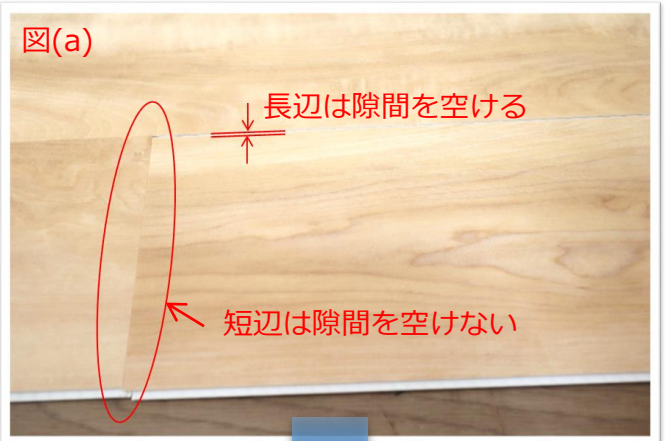
2列目以降を並べます。

まずは、図(a)のように長辺側に少し隙間を空けて短辺のサネをぴったりとはめ込みます。

その後、はめ込むタイルを少し斜めに持ち上げて短辺をスライドさせながら長辺を隙間なくはめ込みます。

短辺側のサネを全て連結させてから、長辺側のサネをはめる事も可能です。作業しやすい方法で施工してください。(短辺がスライドしづらい場合はこちらの方法が適しています)

※うまくはまらない場合はサネの部分に隙間が空いてないか確認してください。(短辺、長辺、同列の他のタイル)
無理にはめ込むとサネが破損する可能性があります。
※サネが固い場合、あて木をしてハンマーで押し込んでください。



※はめ込み作業の動画を公開しています
https://www.makinolabs.co.jp/shidefloor_sekou/

⑧最終列を設置

壁面との隙間を5mm程度(任意)確保できる状態に巾をカットして、はめ込んで完成です。

⑨その他・注意事項等

- ・フローリングによる段差、壁面との隙間が気になる場合は市販の見切り材または巾木等を使用してください。
- ・工具等を使用する際は怪我等に注意するように細心の注意を払って安全な作業を行ってください。
- ・下地の沈み込みがある場合に極端に重いものを設置すると凹み・ソリ等が発生したりサネが外れる可能性があります。
- ・サネを結合した状態で持ち上げるとサネが破損する可能性がありますので、十分注意して作業を行ってください。
- ・本製品はSPC(ストーンプラスチック複合材)のため、一般的な塩ビフロアタイルよりは温度変化による伸縮は小さいですが、フロア材の温度が低い状態で施工された場合は温度上昇時に伸びによる突き上げ等が発生する可能性がありますので、十分に室温になじませた状態で施工してください。
- ・突き上げ防止のため、壁とフロア材の間に5mm程度(任意)のクリアランスを設けてください。
- ・下地に凹凸があると床鳴り・変形・隙間が発生する要因となりますので、出来るだけ平坦な下地でご使用ください。
- ・ご不明な点・お困り事等がございましたら下記までお気軽にご相談ください。

電話 ☎ 080-3133-1606

メール ✉ support@makinolabs.co.jp

マキノラボズ合同会社 カスタマーサポート